

●▲ みねのぶ

2月号



防犯訓練 (R7.1.22 峰延農協金融店舗)

■発行日/令和7年2月1日/No.1474号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

美唄聖華高校に新米を寄贈

12月23日、当JAの伊藤組合長とJA美唄の伊藤正人組合長が美唄聖華高校（内海久校長、246人）を訪れ、親元を離れ、美唄の寮や下宿で一人で暮らす生徒のために夢の実現を応援したいとの思いから、各JA管内で収穫された新米150kgずつを寄贈しました。

贈呈式では生徒を代表して専攻科1年の舩田さくらさんが「美唄の自然の恵みを活かした安心安全なお米を弁当に使わせていただき、しっかり食べて、この冬を過ごしたい」と感謝の言葉が述べられました。



令和7年産米の「生産の目安」前年実績より4%増で設定

12月24日、北海道農業再生協議会は、7年産主食用米の生産の目安を、497000ト、面積は前年実績より4%多い87054畝で設定することを発表しました。

これは全国の需給見通しや生産者の主食用米作付け意欲の高まり、農業団体。集荷団体の販売計画を踏まえ設定したものです。

同協議会水田部会は、各農業団体及び各地域協議会へ提示し、需要に応じた取組を推進していくこととしています。

JA青年部役員が新年の挨拶で農協事務所へ来所

昨年12月20日に開催された第77回通常総会で選任されたJA青年部新役員が新年の挨拶のため、農協本部事務所管農事務所を訪れました。

役員を代表して、荒井翔悟部長は「今年1年、この役員体制で活動してまいりますので、本年も役職員皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします」と挨拶を述べました。

JA青年部役員が

美唄市長を表敬訪問

1月15日にJA青年部役員が美唄市の桜井恒市長を表敬訪問しました。

美唄市役所を訪れたのは、新役員4名です。

当日は、青年部の事業内容や、令和5年度から実施している「美唄新米収穫祭」を通じて地域活性化に対する取組等についての報告を併せて、今後に向けての活動内容に触れながら、部員達の熱い意気込みを伝えました。

桜井市長は「地域の若手農業者の活動や思いを聞いて良かった。今後ともぜひ地域を盛り上げていくといい」と述べました。



**職員研修会で美唄警察署が
特殊詐欺・交通安全等の講義**

1月22日、JA三階会議室で職員研修会を開催し職員28名が参加しました。午後4時から1時間の研修会で多くの職員が参加しました。研修内容は、美唄警察署員が講師で、特殊詐欺、交通安全、防災の3件です。特に最近、事件が多く毎日のように新聞に載っている特殊詐欺では、今までの被害者は高齢者だったが今は現役世代が被害に遭っていて、北海道内の12月末の発生件数が198件・約7億6千万円で前年同



月比38件・約2億円増加しているとの話を聞く職員は興味津々の様子でした。また、詐欺の方法も、SNS型、投資型、ロマンス型と多様化しているため、被害に遭わないように気を付け、詐欺の連絡手段の多くが海外から電話をかけてくる国際電話で国際電話の停止も電話会社で無料でもらえるとのことでした。

**役員報酬審議会から
答申を受ける**

1月24日、農協3階会議室にて、令和7年度の役員報酬の答申を受けました。



この役員報酬審議会は、農協の規程に定められて設置する委員会です。現在は安達進委員長(豊葦)、岸本保晴副委員長(光珠内北)、黄田英俊委員(上美唄)、今橋健太郎委員(豊葦)、梶秀美委員(岩見沢市峰延町)の5名です。

JA役員報酬額は総会の付議事項で毎年開催する通常総会に提案し、承認を受けることになっており、総会に提案する役員報酬についての原案は、組合長が役員報酬審議会に諮問し、役員報酬審議会が検討を行い、組合長に答申し、総会に議案を提出しています。

今総会に諮る役員報酬は昨年12月20日の第1回報酬審議会において伊藤組合長から諮問を受け、検討の結果、1月24日に答申書が伊藤組合長に手渡され、本年3月に開催される通常総会にて提案され、審議されることとなっております。

第12回(1月定例)理事会開催

1月27日開催の第12回(1月定例)理事会において次の事項が決定・協議されました。

◇決議事項◇

1. 令和7年度信用供与等の最高限度額および貸付金利率の最高

限度の設定について

2. 令和7年度役員と組合の取引基準について

3. 令和7年度理事との買取販売取引の包括的承認について

4. 令和7年度理事に対する資金の貸付について

5. 令和7年度コンプライアンス・プログラムの策定について

6. 令和7年度内部監査の基本方針及び内部監査計画について

7. 令和7年度経営定期点検の実施計画について

8. 令和6年度産米穀出荷費用負担軽減対策の支払いについて

9. 令和6年度産低タンパク米生産誘導対策費、YC(ハーブ、土生米)加算の支払いについて

10. 年度末賞与の支給について

◇協議事項◇

1. 役員選任実施要領に基づく理事會推薦會議の開催について

2. 決算処理方針について

3. 第77回通常総会・地区別懇談会の開催日程について

|| 職員の退職 ||

- ・ 林 真里(営農販売課)
- 令和7年1月30日付け

報 徳

無利息金の妙用



尊徳翁は次のように話された。国中の大方の、今の重要課題は、村々が貧困に陥り、そのために村中の雰囲気が悪くなっていることである。この雰囲気の悪さを直すには、村を貧困から救う他に手立てはない。しかも、その貧困を救うのに、資金や財物を直接支給するとなると、何処の国や村でも、財政はその重荷に耐えられない。

そこで私は、無利息金貸付という方法を考え出したのである。この方法は、実に、「恵んで費えざる」法の実現である。また、この方法に、一年分の報酬金を付け加える事にもした。これは、「恵んで費えざる」の他に、「欲してむさぼらざる」の意味を持たせたものである。

この無利息金貸付法は、実に、貸す方も喜び、借りる方も喜ぶ、貸借両全の方法である。
(夜二七五)

農産物鑑定研修会で

職員が優秀賞を受賞

1月16日北海道農産物協会が主催する「2024年度農産物鑑定研修会」が札幌で開催され、全道から農産物検査員であるJA職員およそ90名が参加し、当JA営農販売課横田職員が「大豆の部」で参加し、全道2位である「優秀賞」を受賞しました。

本研修会は、玄米・小麦・大豆の各部門で制限時間内に粒の張りや光沢などを基準に目視で鑑定し、等級判定の正確さを競う研修会で、農産物検査の技術向上を図ることを目



的に開催されています。

当JAは今後も生産者・実需者・消費者から信頼されるため適正かつ確実な農産物検査を実施してまいります。

金融店舗で防犯訓練実施

1月22日、美唄警察署の協力を得て、当JAの金融店舗で防犯訓練が実施されました。

特殊詐欺未然防止の対策として警察署員が高齢の利用者に扮し、窓口取引時のJA職員の対応について訓練を行いました。



の取引をする際、資金使途や詐欺の疑いが無いかチェックシートを用いて聞き取りを行うなどの声掛けを行い、警察に連絡するまでの一連の流れを実施しました。

美唄警察署、生活安全課の関口氏は「高齢者の高額取引においては躊躇なく連絡していただき、1件でも特殊詐欺の被害を防ぐよう協力をお願いします。」と話していました。今後金融店舗では、高齢者による高額取引時には取引内容の聞き取りや、警察への連絡をする場合があります。利用者の方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

おくやみ申し上げます

- 橋場 容子さん (83歳)
令和6年12月26日
- 岩見沢市北村中小屋 4359番地
関口 トシさん (97歳)
令和6年12月29日
- 岩見沢市北村中小屋 3582番地
尾高 美代子さん (96歳)
令和7年1月8日
- 岩見沢市北村中小屋 4585番地
岩間 陽子さん (67歳)
令和7年1月9日

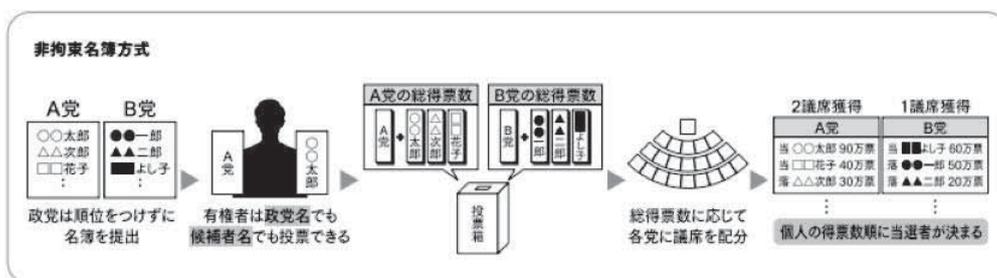
美唄市豊葦町本町4

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位をする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。

STOP!

振り込め詐欺

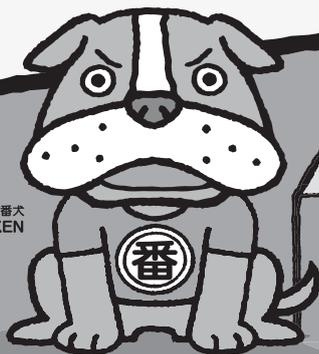


ATMコーナー※ での携帯電話の 通話をご遠慮 ください。

※ATM機器から
概ね2メートル以内の
範囲を指します。

なお、ATMコーナーで、携帯電話をご利用の
お客さまには、振り込め詐欺をはじめとする
犯罪被害防止の観点から、行員などがお声かけ
をさせて頂くことがありますので、あらかじめ
ご了承ください。

金融犯罪の番犬
BANK-KEN



警察庁・都道府県警察・
全国銀行協会